【SR-7　評価シート　エビデンス総体】

診療ガイドライン	がん薬物療法に伴う血管外漏出に関する合同ガイドライン
対象	抗悪性腫瘍剤の血管外漏出が起こった（疑われる）患者
介入	ステロイド局所注射を使用する
対照	ステロイド局所注射を使用しない

＊バイアスリスク，非直接性
各ドメインの評価は「高（−2）」，「中／疑い（−1）」，「低（0）」の3 段階。
まとめは「高（−2）」，「中（−1）」，「低（0）」の3 段階でエビデンス総体に反映させる。
＊＊上昇要因
各項目の評価は「高（+2）」，「中（+1）」，「低（0）」の3 段階。
まとめは「高（+2）」，「中（+1）」，「低（0）の3 段階でエビデンス総体に反映させる。
アウトカムごとに別紙にまとめる。

エビデンス総体

アウトカム	研究デザイン／研究数	＊バイアスリスク	＊非一貫性	＊不精確性	＊非直接性	＊その他（出版バイアスなど）	＊上昇要因（観察研究）	リスク人数（アウトカム率） 対照群分母	対照群分子	（%）	介入群分母	介入群分子	（%）	効果指標（種類）	効果指標統合値	95%信頼区間	＊＊エビデンスの強さ	＊＊＊重要性	コメント
外科的処置（デブリ・植皮）の減少	症例報告/7	-1	0	-2	-1	0	0	3	2	66.7	14	12	85.7	NA	NA	NA	D	9	
ステロイド局所注射に伴う痛み																			
回復までの日数の短縮	症例報告/8 コホート研究	-1	0	-1	-1	0	0	3	0	0	28	25	89.3	NA	NA	NA	D	6	
局注部の皮膚障害（局所感染、皮膚萎縮、毛細血管拡張等）	症例報告/1	0	0	-2	-1	0	0	NA	NA	NA	1	1	100	NA	NA	NA	D	6	

コメント（該当するセルに記入）

								上記のほか、分子がNAのため含めなかった21症例が別にあり			上記のほか、分子がNAのため含めなかった32症例が別にあり							